



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

オンラインによる職場体験学習



群馬地方協力本部高崎地域事務所（所長 3等陸尉 土屋章）は、令和3年12月8日（水）安中市立第二中学校の2学年生の自衛隊希望者9名（男子5名、女子4名）を含む、33名の生徒に対して、オンラインによる職場体験学習を実施した。

安中市立第二中学校は、オンラインによる職場体験学習は初めての取り組みであり、コロナの影響により体験学習は約2年ぶりの実施となった。

職場体験学習とは、働く事の意義や社会のルール・マナーを学習し、社会人としての第一歩を踏み出すことを目的としている。準備段階において、生徒からの電子メールによる依頼・挨拶文から始まり、Google Meetでの回線調整などを2学年主任と積極的に実施し、良好な環境の中で行った。学習当初、事前に依頼があった質問事項に沿い、陸上自衛官の田畑一曹（女性）松本2曹と海上自衛官の佐々木一曹が自衛隊勤務でのやりがいや働くことの楽しさの経験談を交えながら、丁寧に説明した。画面越しではあるが生徒が意欲的に説明を聞き、熱心にメモを取り学んでいた。また自衛隊希望者以外にも「最新鋭の装備は何ですか」、「自衛隊員は、厳格な人が多いのですか」など、多数の質問があり、当初緊張感が溢れる中であつたが中盤以降は、笑いが絶えない和やかな雰囲気であつた。最後に自衛隊の概要を説明し、理解を図った。



中学校からは、「とても楽しい職場体験で勉強になりました。」また、「来年2月上旬に予定している職場体験学習の成果発表会に参加して頂きたい」とのお言葉も頂いた。

教員からも「コロナ禍で、学校行事が軒並み変更・中止になり、職場体験学習等も実施できていなかったため、今日の職場体験学習はとても良かった」とお言葉を頂き、私達にとっても素晴らしいある広報の場となった。

高崎地域事務所は、各学校と良好な関係を構築強化させ、職業選択のバイプ役となり効率・効果的な説明会等を実施して、募集・広報に邁進していきます。

豊岡中学校で職業講話実施 !!

堀越 正紀

群馬地本地方協力本部（本部長 防衛事務官 安永琢哉）は12月7日（火）、高崎市立豊岡中学校において、防災教育及び職業講話を実施した。

講師である群馬地方本部 副本部長（福崎2佐）が災害派遣の経験、キャリアコンサルタントの資格を活かして中学2年生120名及び教員方に対して、防災教育・職業講話の2本立てで行なった。防災教育では、「災害・危機管理に対する準備の大切さ」として、防災意識を高め物心両面の準備・訓練（予行）の重要性を教育。命を守るこの大切さを教育した。

職業講話では、「自衛隊の任務・活動・職種等」を紹介し、自衛官としてのやりがいを伝えるとともに、勤労の大切さを伝えた。

生徒達は真剣にメモを取りながら耳を傾けていました。

後日、生徒達から感謝の手紙を頂き「防災への意識を高めて備えていきたい。」「自衛隊のイメージが変わった。」「将来の選択肢として目指していることと思う。」等の言葉を頂いた。また、教員からも「生徒たちは防災対策について改めて考え、仕事や働くこと、毎日の生活の過ごし方についても、意識が変わった生徒が多かったように感じます。」と手紙を頂きました。

群馬地方協力本部は、今後も自衛隊をより幅広く知ってもらうと共に地域の災害特性を踏まえた防災教育を実施して防災意識の向上に貢献していきます。

